

大阪航空局次長 殿

中国地方整備局 港湾空港部長 殿

航空局 航空ネットワーク部 空港技術課長

(公印省略)

令和5年度 平成30年7月豪雨の復興・復旧事業等における
積算方法等について

平成30年7月豪雨の復興・復旧事業等における空港土木工事の積算方法等について、実態調査結果を踏まえ、下記のとおり措置されたい。

記

1. 適用対象工事

広島県内で実施する空港土木工事で、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの期間に入札書提出期限日を設定する工事。

2. 積算方法

(1) 日当たり作業量の補正

【対象歩掛】土工に関する歩掛

【補正内容】作業日当たりの標準日当たり作業量を10%低下する補正

※補正後の作業日当たり作業量＝作業日当たりの標準日当たり作業量×0.9

なお、当該単価表については、国土交通省ホームページで公表の「令和5年度 平成30年7月豪雨の被災地(広島県)で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」を準用するものとする。

(2) 間接工事費の補正

「空港請負工事積算基準の一部改定について」（令和5年3月31日付国空空技第584号）の共通仮設費率及び現場管理費率の補正に係る「その他」に該当するものとし、各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じるものとする。

間接工事費	補正係数
共通仮設費	1.1
現場管理費	1.1

3. 適用にあたって

本通知の適用対象工事においては、当該補正を行って積算を行うことを入札公告等に明記するとともに、本通知に基づき、予定価格を算出するものとする。

4. 既契約工事について

既契約工事については、本通知の適用対象外とする。

5. その他

「平成30年7月豪雨の被災地（広島県）の復興・復旧事業等で適用する空港請負工事積算基準における積算方法等について」（令和元年8月9日付国空空技第173号）は令和5年3月31日をもって廃止する。